

招隱館漫筆

三

和書門			
一冊	二架	三函	四三五五二號

404

内閣文庫	
一八二函	四三五五二號
二架	三冊
和書類	

内閣文庫	
番號	和 43552
	8003
冊數	3 ( 3 )
函號	182 404



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



糊などで貼り付けられている部分がめくれない箇所あり

招隱館漫筆

三

招隱館



拓隱館漫筆卷之三

禮樂

鸞岳源頼紀著

夫人君ノ天下ヲ經論スルノ道樂ヨリ先ナルハナシ三代  
仁明王禮ヲ制シ樂ヲ作り給ニ昇平ノ教化ヲ行一リ禮ハ

嚴肅ナルモノナリ總テ上下ノ位ヲ定メ遺賤ノ等ヲ辨シ

男女ノ別ヲ明ニシテ父子兄弟ノ倫ヲ正クスレハナリ樂

ハ和順ナルモノナリ總テ上下ノ交ヲ成シ君臣ノ情ヲ扱

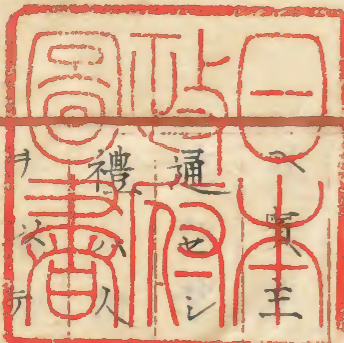
ノ好ヲ合セ神ト人ト和キ導キ言スシテ人心ヲ感

通シムルモノハ禮樂ナリ故ニ是ヲ不言ノ教ト云フ凡

禮人情ニ協ヘ物理ニ順テ中ヲ制ス古ノ聖人聰明睿

人情ニ通シ物理ヲ明メ萬事ノ作法儀式ヲ定メ置

テ天下ノ民ト共ニ是ヲ守レリ百世ノ未マテモ規矩準繩



内務省

ノ如ク一定シテ易ラサル法ナリ故ニ不易ノ定典ト云フ  
ハ吉凶軍實嘉ノ五禮ナリ春臺カ經濟録ニ詳ニ云ハリ夫  
禮ハ禮記ニ禮從冢トアリ三代不同礼王タリトモアレハ  
其時勢ヲ覽ニ人情ヲ察シ其冢敷ニ從テ損益斟酌アルコ  
ト、見ヘタリ故ニ禮ハ形アリテ形ナキモノナリ如何ト  
ナレハ中國ハ立テ拜スル礼ナリ日本ハ坐シテ拜スル禮  
ナリ天竺ハ左祖シテ拜スルカ禮ナリ故ニ坐立左祖皆是  
ニ及スル時ハ非禮不敬ナラン三代ノ聖王モ禮ヲ同セス  
シテ天下ニ王タルモ人情ニ宜敷ニ從テ儀式作法ヲ制作  
スルト見ヘタリ是礼ハ形アリ形ナキモノナリ他ハ皆是  
ニ準シテ知ルベシ吾神祖天下ヲシロシノサハルヤ否  
堯シ給ヒ戰國ノ餘弊未除朝廷ノ禮義及ヒ諸ノ制度ニ及  
ハス其後文廟ノトキニ至テ新井筑後守ニ命朝廷ノ禮

禮記

義冠婚喪祭總テノ制度ヲ改作シ給ヒ命文廟堯給ヒ遂  
ニ其コト廢シ又後世諸君子ノ深ク歎息ス世所ナリ朝廷  
ノ禮義諸ノ制度ノ立筆ハ予カ如キ輒生ノ喙ヲ叩トコロ  
ニ非ス因テ不諭唯禮ノ貴キコトハ第一ニ人君ノ行ヒニ  
カ、レリ上一人禮ヲ以テ其身ヲ正シクヌルハ下是ヲ守  
リ正クスルナリ商書云以義制事以禮制心トアリテ人君  
タルモノ能々禮ヲ以テ心ヲ制セサレハ其身ヲ正シクス  
ルコトカタレ凡人心ト云モノハ定規ナキ時ハ種々ニ變  
態スルナリ其變態スルハ人情ナリ喜怒哀懼愛惡欲ノ七  
者ハ學スレテ能スルモノナリ此七情ハ中ニ別テ人ノ欲  
スル所ハ声色利欲ニ過ス故ニ聲色ニ溺レ利欲ニ為惑サ  
レ驕奢ハ是ニ從テ過度スル時ハ社稷モ安寧ナラズ國民  
大ニ其害ヲ被ルゴト舉テ教ハカタレ故ニ禮ヲ以テ心ヲ

禮記

制セサレハ心遠ニ放逸ニ蕩スルナリ顔淵問仁子曰克己  
 復禮為仁一日克己復禮天下歸仁焉為仁由己而由人乎哉  
 顔淵曰請問其目子曰非禮勿視非禮勿聽非禮勿言非禮勿  
 動ト宜ヒシハ人君タル者能克己復禮サレハ治道ノ大ナ  
 ルコトヲ得カタシ徠翁云レシハ己ニ克テ禮ニ復スルハ  
 人君タルモノ身ヲ禮ニ納レ安民ノ道ヲ天下ニ行フハ先  
 己ヲ脩メテ人ヲ安スレハナリ射義ヲ引テ曰射ハ仁之道  
 也求正諸己己而後發々而不中則怒勝己者反求諸己而已  
 矣是先己カ身ヲ正スルニ喻タリ故ニ視ルコト聴クコ  
 ト言フコト動クト一々禮義ニ反復シテ礼ヲ非ルコトハ  
 視聴言動ヲ恣ニセス蓋シ禮ヲ以テ己カ身ヲ約スルナリ  
 自カラ仁ノ道ト成ル如何トナレハ凡天下國家ノ主トシ  
 テ其人民ヲシテ疾苦セシムルハ不仁トイフベシ然ルニ

ソノ君長タル人我心ノ欲スルカマニ視タキ物ヲ見テ  
 聴タキコトヲ聞キ言タキコトヲイヒ動キマニ動テ己  
 ヲ縱ニスル時ハ終ニ財用ノ不足トナリ人民ノ憂苦ト成  
 テ甚シキ不仁ノ道ナリ總テ禮義ニ引反シテ其身ヲ約シ  
 テ視聴言動ヲ謹ムコトハ禮ヲ以テ心ヲ制スルニシクハ  
 ナシ唐虞三代聖人ノ代ト稱スルモノノ所詮ハソノ君ノ  
 己ヲ克シテ禮ニ復レルヨリ外ノコトハナシ桀紂幽厲ノ  
 如キ亂君ノ世ト号スルモ其所詮ハ其君ノ己ヲ縱ニシテ  
 禮ニ悖レルヨリ外ノコトナシ此克己復禮ヲ教ハ是ヲ天  
 下ニ用ヒレハ天下平カニ是ヲ一國ニ用レハ一國治リ是  
 ヲ一家ニ用レハ一家齊フベキ道ナリ然ニ國君多クハ學  
 ヲ好ス偶一二書ヲ讀トイハトモ浮華ノ學ヲ務テ好處ハ  
 奢侈ヲ恣ニシ或ハ声色ニ荒淫シテ無益ノ財産ヲ費スコ

ト皆己一人ノ耳目ヲ歛スノ三ニテ衆民ノ疾苦ヲ憂ヘス  
君一人ノ放逸ナル故ニ萬民ノ歎キイカハカリナラニヤ  
是不仁ノ尤甚シキモノナリ故ニ禮ヲ以テ心ヲ制シ又克  
己復礼皆人君ノ心ヲ矯ルノ語ナリ子曰上好禮則民莫敢  
不敬上好義則民莫敢不服上好信則民莫敢不用情トアレ  
ハ君ノ好ム處民敢テ心服セサランヤ故ニ國君其身ヲ正  
スルハ禮ナリ政者正也其身正シカラサレハ天下國家ノ  
政治ハ行ヒ難シ子曰其苟正其身矣於從政乎何有不能正  
其身如正人何ト宜ヒシ如ク身ヲ正クスル者ハ禮義ナリ  
是ヲ規矩準繩トシテ以テ國家ヲ臨マハ治マラセラルセヤ  
アラン豈治ラサル國ヤアラン人君タル者思諸夫樂ハ樂  
ナリ人心ヲ樂シメ能ク和順スルモノナリ故ニ樂ハ和ヲ  
以テ本トスル故ニ是ヲ用テ君臣上下父子兄弟ヲ和セシ

内務

ノ或賓主ノ歡ヲ盡シ睦ヲ修シ好ヲ結フ往古ハ禮ニ必樂  
ヲ用ルハ和ヲ道為ナリ樂ニ必礼ヲ用ルコトハ敬ヲ存  
セシ為ナリ故ニ孝經ニ移風易俗莫善於樂ト云テ能ク人  
心ヲ風化シテ教導スルモノハ樂ニシクモカナシト先王  
遺訓ナリ然ルニ樂ニ雅樂アリ淫樂アリ雅樂ハ先王是ヲ  
制シ天地ノ正氣ヨリ出タル聲ニテ是ヲ聽トキハ心正ク  
シテ身蕩セズ莫ニ中和ノ音ナリ淫樂ハ鄭衛桑間濮上ノ  
樂ニテ人心ヲ蕩カシ淫逸ニ流移シテ七國ノ調ナリ然ト  
モ淫樂ハ人情ノ欲スル所ナレハ能ク行ハルモノニシ  
テ人心ヲ放逸スルコト是ニ過タルモノナシ孔子鄭衛ノ  
聲ハ雅樂ヲ亂ト宣フヲ見レハ聖人モ淫聲ノ惡弊アルコ  
トヲ歎カレシコトナリ淫樂ハ大ニ風化教導ノ妨トナル  
モノナリ春臺カ樂ノ起ヲ云フコト詳ナリ秦ノ代ニ儒書

内務

ヨ焚キ儒者ヲ殺セシヨリ礼樂ノ道絶又レトモ漢ニ及テ  
禮樂ノ道復興ス三代ノ古ニ及ハストイヘトモ漢ヨリ以  
後歷代ノ帝王天下ニ臨テ必禮樂ヲ作ラシメ禮アレハ必  
樂アリ天地社稷宗廟ヲ祭ルニ樂ヲ用スト云フコトナシ是  
天下ヲ治ムルニ禮樂ナクテハ叶ハサル故ナリ漢ヨリ以後  
ノ樂ハ完キ古樂ニ非ストイヘトモ郊廟朝廷ニ用ル樂ナル  
故ニ世俗ノ淫樂ニハ同日ニ語ルベキ者ニ非ス日本ニハ  
聖徳太子中華ノ樂ヲ求メテ數多ノ伶人ニ是ヲ習ハシメテ  
朝廷ニ用ラレシヨリ今ハ也<sup>迄</sup>ニモ伶人ノ專門ニ此業ヲ  
守ラシメテ千餘年ヲ歴テ亡ビ失セス全ク傳レリ昔ノ歌ハ  
ウタノ類ニハ今様朗詠ト云フ物アリテ俗間ノ歌ハモノ  
ナレトモ其詞鄙俚ナラス風雅ニ近キモノナリ<sup>朗</sup>詠ハ大  
納言公任ノ和漢<sup>朗</sup>詠ヲ歌ラナリ是ニハ管絃ヲ和スル事

内務省

アリ管絃ハ上一人ヨリ下民間マテ同名用ルコトナシ俗  
説ニ矢作ノ宿長ノ女モ管絃ヲナシタリト云傳フ平重衡  
囚ニナリテ鎌倉ニ在シ時千壽ト云妓女ヲ奉テ箏ヲ彈セシ  
ニ五常樂田忽皇學ナトヲ奏セシトナリ其比ハ是ヨリ外  
ニ別ノ音樂ナカリシ故ニ貴賤皆此雅樂ヲ奏シテ心ヲ慰  
シナリ平清盛白拍子ヲ好マレタリ妓女ノ歌舞ニテ吾國  
ノ風俗ナルモノナリ然トモ其歌ノ調ヲ觀レハ風雅ノ意  
アリテ今ノ世ニアル大頭ノ舞トイフモノ昔ノ白拍子ノ  
流ナリサレトモ昔ノ如クノ歌曲ハ無シト見エ此條家ノ  
未ノ世ヨリ猿樂田樂ナト云フ者アリテ古ニナキ俗樂起  
レリ然トモ此等ノ類ハソノ樂士ノモノ、スルワサニテ  
士大夫ノ身ニソノコトヲナスニ非ス其世ニモ士大夫ノ  
人ハ只雅樂ヲナシテ樂トセシナリ新田義貞ハ笛ヲ吹キ

内務省

足利尊氏ハ笙ヲ吹キ楠正成ハ琵琶ヲ彈シテ皆堪能ナリ  
シトカヤ室町家ノ末ヨリ猿樂盛ニナリテ朝廷ノ燕享ニ  
是ヲ用ラレシホトニ自然ニ武家ノ樂トナリテ海内ニ行  
ハルコト二百餘年ニ及ベシ此猿樂ハ中華ニテハ俳優  
雜劇ノタクヒナリ異ナル音聲ハ古人ノイハル北鄙殺伐  
ノ聲ニテ中和ノ聲ニアラズ或云猿樂ハ軍中ノ歌舞ナリ  
因テ殺伐ノ聲ヲナセリトモ云ヘリサレハ流娃ノ聲ニハ  
非ス今世ニ流行スル淨瑠璃三線ホト流聲ナルハナシ其  
濫觴サタカナラサレトモ說經師ヨリ始マレリト云說經  
ハ本佛菩薩ノ縁起ヲ謠テ世人ヲ佛道ニ勸メ悲哀ヲ主ト  
シテ人ヲシテ流涕ヲ催サレバ本ハ鉦鼓ヲ鳴シ謠シニ今  
ハ三線ニ和スルコトナレリ淨瑠璃ト云ヒシ者ノコトヲ  
十二段ノ詞ニ作テ謳シヨリ始レリ此曲世ニ盛ニ行ハレ

内務省

種々ノ變調是ヨリ起レリ箏ハ本雅樂器ナレトモ今ハ一  
種ノ變調起リ筑紫箏ト云フ者出来テ三線ニ合セ流娃ノ  
聲ヲ發ス淨瑠璃ハ初ハ古人ノ名アルモノコトヲ作り  
シ故ニ頗文雅ナリシニ近世ハ其詞ハ賤キ者ノ色欲ニ溺  
レ流亂ニシテ家ヲ亡シ身ヲ喪フコトヲ作レリ其詞モ鄙  
俗ニ成リ来リ根柢ノ甚敷流聲ニシテ人心ヲ流蕩セシム  
三線ノ聲ハ流娃ノ至極ナリ此聲纒ニ發スレハ乍人ノ流  
心ヲ動スルコト他ノ樂ノ比類ニテラス三線ノ彈法極テ  
繁數ニシテ人情ニ協フコト他ノ樂器ノ及フ所ニアラス  
人心皆放蕩流佚ニ風化セリ又中華ニ俳優トイフハ此方  
ノ狂言師ナリ中華ニ雜劇トイフハ此方ノ歌舞伎ナリ中  
華ニテハ俳優ノ輩ニ令シテ雜劇ニモ古ノ孝子忠臣ノコ  
トヲナサシメ流邪不法ノコトヲナサシメ是民ノ風俗

内務省



ヲ敗ラニコトヲ恐ル、故ナリ此方ノ今ノ歌舞妓狂言ハ  
今ノ俗情ニ協レトテ今ノ世ノ民間ニアル淫乱放佚ノ  
コトヲナス皆人ニ淫ヲ誨ル媒トナリ民ノ風俗ヲ敗ルコ  
ト是ニ過タルハ十シ皆淫樂ノ故ナリ風俗ノ敗ルハ國  
家ノ患ナレハ淫樂ノ政治ヲ害スルコト誠ニ莫太ナリト  
春臺ノ悲歎セラレタルハ誠ニ尤ナルコトソカシ西川翁  
云歌舞妓ハソノ始リハ女樂ナリ出雲ノ大社ノ巫女ニ國  
トイフ美女アリ神樂ヲ愛シテ舞ヒ歌ヒシカ京都ニ來リ  
テ歌舞妓ノ曲ヲナセシヨリ世ニ繁昌シテ人心ヲ蕩カシ  
誑カシテ人ヲソコナフ事甚シ依テ當御代ニ女ノ藝ヲ禁  
制アリシソノ後美少年ヲ以テ藝ヲナカシム諸人は惑  
溺スルコト女樂ニ同シ又是ヲ禁シ給ヒ美少年ノ額髪ヲ  
剃テ長年ノ如クニセリ是ヲ野郎ト号ス元薩摩ノ詞ナリ

内務省

ト云夫歌舞妓ノ人情ヲ動カスコト甚シ是ヲ助ルニ淫聲  
ヲ以テスル故ニ貴賤トナク皆是ニ風化セラレテ流蕩淫  
溺セシム然ルニ近也淫聲盛ニ流行スル中ニ一擲ノ變調  
アリ今天下ニ盛ナリ貴人高位ノ人モ是ニ心酔シテ好テ  
是ヲ學ビ相樂ノリ閨門中盛ニ行レサル所ナシ皆是ニ風  
セラレテ閨門ノ中情弱ニナリテ治リ難シ况ヤ市井閨闈  
ノ中ハ尤ナルコトソカシ俗情ニ近クテ人心ヲ蕩佚スル  
事是ニ過ルコトナシ上ノ好ム所下自カラ是ニ風化セラ  
レ藩中ノ男女トモ是ヲ悦ビ學テ相共ニ歡樂セリ此故  
ニ武士ノ風儀モ悉ク淫乱放佚ニシテ禮儀正シカラズ閨  
闈ノ無賴少年ノ風ニ推移リ俳優ノ似ヲスルコト皆彼ニ  
眩惑セラレ武士モ自然ト其職ニ懈惰シテ淳朴忠誠ノ志  
モ失ハリ此變調ノ詞ニ作りシ中ニモ淫乱猥褻ノ甚敷ハ

内務省

男女媒灼ヲカラス私ニ相通シ嗾村ノ誓アレトモ父母親  
族モ許容セサル故ニ共ニ自殺ス或ハ娼妓ヲ惑溺シテ破  
産断滅ノ時ニ臨ニテ進退爰ニ谷リ遂ニ相對シテ自刃ス  
是ヲ心中ト云リ近來大國忠相愚夫愚婦ノ心中スルヲ憐  
ニ思テ其言葉ヲ改テ相對死ト号シ工夫ヲ廻シ是ヲ停止  
セントスレトモ止マス忠相カ賢才ヲテサヘ停止スルコト  
アタハス况允下ヲヤ心中スルモノハ貞操ニ似テ大ニ非  
ナリ尤憐ベク愁ヘキコトナリ然ルニ彼ノ變調ノ詞ニ此  
心中ノコトヲ面白ク作りナシ妙音清響ヲ以テ是ヲ謳ヒ  
俳優ノ美男等躍リ舞フ觀者茫然トシテ魂ヲ奪レ悲哀絶  
倒シ涕泣ヲ掩テ相悦相樂ムコトニナレリ誠ニ淫聲ノ極  
トモイフベシ市井閭閻ノ少女ハ悉ク是ヲ習フテ諸侯  
王ノ後宮ニ奉侍スル風俗トナレリソノ淫詞ハ父母兄

弟一坐ニテ聞ニ忍ヒサルコトナレトモ世ノ風俗トナレリ  
誰取ルモノナシ歎歎コトナリ故ニ自然ト男女ノ性ニモ  
荒淫好色ノ人アリ彼ニ風化シ生長スルニ從テ其謳モノ  
ニ作ラレシコトヲ羨ミ慕フ心ニナリ遂ニ淫奔シテ相對  
死ヲナスコト下都尤甚シ浪華ハ江都ニ倍セリ云フ先年  
浪華ノ町奉行某此コトヲ歎キ惡ニテ男女ノ死骸ヲ赤體  
ニシテ巷ニ曝シテ戮辱スレトモ愈盛ナリト云リ中華ニ  
テハカツテ是ナキコト此吾邦ノ俗弊ナリ顧フニ男女情  
慾ノ凝ル處至リテハ水火刀刃ヲモ恐キ不誠ニ愚夫愚婦  
ノ情憎ムヘク憐ヘシ悲ヘシ皆世教ノ行レサル所ナリ其  
男女情慾ノ盛ナルハ淫聲ノ盛ニ流行シテ彼ニ風化セラ  
ル、故ナリ百ノ大國トイヘトモ如何トモスルコトアタ  
ハシ顧フニ其淵源ヲ斷カレハ此惡弊ハ止マシ鄭衛桑間

内務省

漢上ノ樂ハ亡國ノ音ナリト先賢ノ懼レ誠ノヲレシカト  
モ今流行スル變調ニハシカシ是ヲ先賢ニ聞シナハ破膽  
驚死センコト必セリ中華ニテハ代々法律ヲ淫聲ヲ作ル  
モノハ死刑ニ處セラルナリ如此懼レ惡ヘキモノヲ今盛  
ニ行ハ時世ニ害アルコト歎シキコトナリ然トモ儀ニ禁  
止アラハ此技ヲ以テ口ヲ糊スルモノトモ難儀ナラシ漸  
々ニ禁止アラハカナラン先歌謳ヲ作ル者ニ命シテ淫乱  
狼<sup>畏</sup>褻ノ言ヲ固ク禁シテ古ノ忠臣孝子貞婦ノコトヲ作り  
歌舞妓狂言ニモ人倫ノ道ヲ害スル様ナルコトヲナサス  
勸善懲惡ヲ本トシテ淫民ノ防ヲ固クナサシテ自然ト  
風俗モ淳朴ニ復シ國家長久ノ基トナラシト春臺モ云レ  
シカサモアランカ又云後世ノ人主先<sup>王</sup>主ノ治ニ倣ハント  
ナラハ禮樂ヲ興シタマフズキナリ我日本ニハ幸ニ古

樂傳リテアレハ是ヲ朝廷ニ用ヒ士庶ノ間ニモ行ハハ長  
久ノ計ナルベシト謂レシカサモアルベケレトモ井蛙ノ  
見ヲ以テ是ヲ見ルニ禮ハ時ノ宜ニ從テ古ヲ考ヘ損益ア  
ルハ随分ト復興スベキカ樂ニ至テハ古樂存セリトイヘ  
トモ行ヒ難カラシ如何トナレハ魏文侯ハ賢ニシテ古ヲ  
好メリ子夏ヲ招テイフハ寡人古樂ヲ聽トキハ寐事ヲ欲  
ス鄭衛ヲ聞ニ及テ金<sup>全</sup>倦コトヲ知ラシ子夏是ヲ辨スレト  
モ終ニ閑イレストアレハ文侯ノ賢ニテモ古樂ヲ好マス  
縱ニ高位高官ノ人ハ行ハルハケレトモ士庶人ト市井  
閭閻ノ間ニハ決シテ行ルマシ其故ハ民間愚昧ノ匹夫匹  
婦其諷調ヲ聞テモ何コトヤラン知カタク人情ト齟齬シ  
テ面白カラス迂遠ノ様ニ思ハル縱ニ天下ノ命令トイヘ  
トモ人情ニ背カハ決テ行ルマシ風ヲ移シ俗ヲ易フコト

二下入脱此語  
鄭衛ヲ好メリ況吾  
邦俗ニ於テナヤ

門  
録  
首

ハ人情好サレハ行レカタレ申樂ハ教伎ノ音聲アリトイ  
ハトモ是ハ武人ノ諷調ナラン謡詞ナハ改メ作ラハ湍  
ノ聲ニハマサラン風教ノ一助トモナラン源君美カ俳優  
考ニ申樂ノ濫觴ヲ詳ニ記シ國家盛衰ヲ論セラレシヲ見  
ルニ教化ヲ壞レルコトヲ深ク誠ラレタリ誠ニ大儒ノ撰  
ニシテ快通ノ説多シ其中ニ葫蘆集ヲ引テ夫優者ノ役ハ  
推古天皇ノ御時攝政シ給ヒ豊聰太子六十六番ノ曲ヲ  
作りテ秦河勝ニ命シ給ヒ紫宸殿ノ前ニテ其役ヲナサシ  
メ給ヒシカハ四海波々タヤカニ萬民安ク樂ム太子神樂  
ノ神ノ字ヲ祈テ是ヲ申樂ト名付ケ六十二代村上天皇ノ  
御時太子ノ記シ給ヒシ申樂延年記ヲ見給ヒ羣臣ニ告  
テ上ハ諸神ヲ敬ヒ下ハ萬民ヲ安クスルコト申樂ニ過  
タルハナシトテ河勝カ後秦ノ氏安ニ仰セテ重テ此伎

ヲ興シ給ヒ又氏安サレ世ノ後ヲ金春トイフコト繁ケレ  
ハ是ヲ略シ爰ヲ以テ考ルニ申樂ハ湍樂ニハ遙ニマサレ  
ナランカシカレトモ猿翁ノイハレシハ能トイフ貴ハ  
夥シキモノナリシカレトモ當時武家ノ規式ノヤウニト  
リタレハ外ニ易ハ物ニハ止ムベキヤウナリ室町ニ  
テ御坐始トイフコトアリテ其始ハ猿樂ヲ用テタリ東  
山ヨリ始リタルコトナリ東山殿ヨリ室町家モ衰ハタル  
コトナレハ衰ハタル世ノコトヲ武家ノ法トシテ今ノ御  
代ニテモ規式ノヤウニ用ヒラレシコト如何アルニギナ  
リ又申樂ノ物入莫太ナリ改メテ樂ヲ用ニトスレハ舞樂  
ノ物入又莫太ナリ其上樂ニ謡物絶タル故人情ニ遠キモ  
ノナリ是等ヲ考合テ愚案ヲ廻スニ後鳥羽帝ノ御作ニ宴  
曲トイフモノアリ一二冊ハ世間ニモアルモノナリ長門

内務省

家中之大内家ヨリ持傳ヘタリトテ全部十冊餘ナリ  
宴曲ノ譜アリ其譜ノテイ謠ヨリハガシ少シ長ク間々ニ  
調子付ケアレハ謠物ヲ重ニシテ樂ヲ付ケ物ニシタルモ  
ノト見ヘタリ一番ノ長カ何レモ謠ノ曲舞ホトアリ春夏  
秋冬雜賀神祇釋教<sup>釋</sup>無常ニテ歌ノ題ハ如ク一番々ニ  
名ヲ付タルモノナリ折ニ觸レ時ニ取リテソノコトニ應  
レテ<sup>表</sup>裝束ハ一統ニ狩衣直垂ヲ用ヒ能<sup>易</sup>易<sup>易</sup>ニシテ費モ  
少ク又文物モ調リテ然ルベキコトノ様ニ思ハル是ハ樂功  
者成者ニ<sup>被</sup>御付ニ三年モ四年モ力ヲ成<sup>成</sup>就スベキコ  
トナリト謂レシカサモアリナリ翁モ舞樂ハ人情ニ遠キ  
モノト思ハレ宴曲ヲ以テ是ニ<sup>易</sup>易<sup>易</sup>ヘラレタリ翁モ謠樂ノ  
風化スルヲハ悲歎セラレタリ如何様ニシテモ謠聲ノ盛ニ  
流行スルハ禁止シタキ老ノナリ國若クタルモノハ富國限

富國限

リニハ随分禁制スル事ハナルモノナレハ政治ニ志サス  
君ハ此亡國ノ音ハ樂マシキモノナリ不言シテ大ニ風教  
ノ害ヲ生セリ覆轍ハ禍先蹤遠ニアラス先賢ノ深ク戒ラ  
レタルコトナリ漢書禮樂志ニモ雅頌ハ廢絶シテ鄭衛ハ  
盛ナルコトヲ班固モ悲歎シテ記セリ哀帝ノ時貴戚ノ謠  
侈度ニ過テ鄭衛尤盛ナルヲ憂ヒ詔ヲ下シテ停止スレト  
モ謠聲ノ民間ニ漸漬スル事日久ケレハ遂止不<sup>不</sup>陵夷ニテ  
王莽ニ至テ壞レリ此ヲ以テ是ヲ觀ニ禮樂ノ教化ハ行フ  
事ハ難コト見ヘタリ世ニ禮樂ヲ復興セシ事ヲ欲スル  
者ハアレトモ是ヲ行フ聖王ノ<sup>正</sup>正<sup>無</sup>正<sup>無</sup>キコトヲ憂フ賈誼仲舒  
王吉劉向ノ徒憤ヲ發シテ嘆息スルモ宜ナル哉況吾邦ニ  
於テハ尤難事ナリ千載ノ通弊ナリ

富國強兵

富國強兵

管子曰倉廩實而知禮節衣食足而知榮辱トアリテ國家衰  
弊シ士民困究シテハ文武ノ教化ハ行ハレス士民衣食ニ  
辛苦スル故ニ自然ト禮儀モ亂無理ナルコトヲモナレシ  
道ニカケタル事モ出來ルハ必然ノ理ナリ是國家衰弊シ  
士民貧困ニ迫ル故ナリ何ヲ以テカ文武ノ道ヲ盛隆ニセ  
ンヤ貨殖傳云君子富好行其德小人富以適其力淵深而魚  
生之山深而獸往之人富而仁義附焉蓋虛語ニ非ス人富ハ  
仁義サハ是ニ附ト云ヘリ貧困シテハ文武ノ道ハ行レズ  
是人情ニ悖カ故ナリ聖人ノ仁術ハ國ヲ富スコトヲ先務  
トナス徳ハ本ナリ財ハ末ナレハナリ然ニ今ノ諸侯ハ財  
利ヲ先務トシテ邦國ヲ後ニ見所狭小ナルハナリ夫國  
ヲ富スコトハ急ニハ成功ノ見ヘヌモナリ況國ノ基ヲ  
建ニ於テハ一代ニハ行届コトナシ子孫ニ至リ其法不破

管子

則政績ハシメテ見ユルナレハ皆迂遠ノ様思ヒテ當時  
ノ急務ニ整々タリ是君ト大夫トカ不學ニシテ時勢ニ迷  
惑スレハナリ君臣トモニ不學ニシテ經濟ノ道ヲ知ラヌ  
唯己カ生付ノ才敏ニテ國家ノ政ヲ取捌故ニ人情ニ違フ  
人民ノ勞苦ニナリ其上收斂ノ莖吏等一旦ノ利ニ走テ後  
世ノ憂ヲ顧ス次第ニ邦國衰弊ニナル病ヲ引出シ皆臯  
ノ思慮ヲ以テ遠大ノ業ニ心付サル故ナリ其上時勢ニ引  
レ奢侈ノミ起過レテ黎民重困シ財用足ヌ公務公役ニ之  
シテ因而三都ノ富商ニ金穀ヲ借リ邑入ヲ以テ是ヲ償フ  
故ニ富商ハ威權ヲ得テ侯伯ハ首ヲ低テ彼カ指麾ニ從フ  
コト歎シキコトナリ古モ猶如此コトキアリ漢武帝ノ頃  
匈奴ニコトアリ費用莫太シテ水旱疾疫ハ流行ニ依テ  
天下甚困乏懸官大ニ空シク富商ハ次第ニ富リ封君列

管子

侯ハ困之ニテ餘財ナシ朝夕ノ用所ハ皆首ヲ俯テ給テ富  
商大價ニ借リ邑入ヲ以テ償フトナルヲ以テ見ルニ古  
ノ情態ハ一轍ナレトモ頗ル違同アルヲトテ察ス武  
ノ時白奴ヲ攻ニ依テ大軍ノ費用莫太ニシテ列侯モ困  
セリ今吾國ハ百有餘年恭平ニシテ列侯侯之困ナルハ何  
ソヤ皆奢侈ニ流移シテ先賢ノ仕置シ道ヲ知ラサル弊  
リ或亦俗ノ云中華ノ道ヲ以テ吾邦ニ行ラセトハ諺云  
ヤクシデウキナリト笑フ人アレトモ是不學ノ人ナリ夫  
風土ノ寒暖地ノ肥瘦ハ種々ノ變アレトモ人情ニ於テ古  
今相同シ仍先賢ノ遺訓ニ通シテ國ヲ富シ兵ヲ強スベシ  
豈獨智ヲ以テ是ヲナサントスル事ハ每楫無上テ河ヲ渡  
ルニ異ナランヤ經國ノ大業ヲ師匠ナシニスル故邦國ハ  
次第ニ衰弊シ武士モ懶惰ニナリテ社稷ヲ傾危スル事及

門 綴 卷

ベリ子産所謂不學ノ人ヲシテ錦ヲ製シムルニ異ナラス  
唐モ大和モ國ヲ富ノ術ニ至リテハ至テ難事ナリ賢君ト  
賢大夫ト能其智カヲ盡ニアラサレハ成功ハナシカタシ  
賢士ハアレトモ賢君ナキ故ニ其道行レス賢君サハアレ  
ハ賢士ハ自然ト出来ルモノニテ同氣相求同類相依ノ習  
ニテ君不徳ナレハ不肖者上ニ位シ賢者ハ下ニ隠ル唯  
君徳アル人ノ出ニナキコトヲ歎息スレハナリ齊桓公カ  
管仲ヲ用テ輕重漢鹽ノ利ヲ制シテ國ヲ富セ兵ヲ強クス  
魏文侯カ賢ナル西門豹カカヲ溝洫ニ盡シ李悝カ稼穡ヲ  
務地カヲ盡シテ其國ヲ富セ武威ヲ隣國ニ振ヘリ吾朝ニ  
モ楠正成カ邦國ヲ能治メ國富饒ニシテ人民衣食ニ足リ  
其徳ニ服従スル故ニ元弘ノ大亂ニ處テ徵兵ヲ以テ天下  
ノ大敵ヲ挫折セリ其功ニ依テ河張泉ノ太守ニ封セラレ

門 綴 卷

シ時群臣<sup>命</sup>僉シ曰予苟モ三州ノ主トナリテ國中ノ人民  
ヲ撫育スルヲ任トスレハ更ニ予カ自分ノ益ヲ求ムベキ  
事ニアラス今ヨリ以後有司ノモノ下ノ益ニナル事アラ  
ハ告<sup>モンハアル</sup>ズベカラストナリ其比モシ新法ヲ置ント告スモノ  
アレハコノ如キハ人民ノ安ンスヘキコトナラシヤ將人  
民ノ困ムベキコトナランヤ皆々如何思ヘルヤトテ必群  
臣ノ思慮ヲ問訪テ敢テ專ラ自分ノ意ヲ以テ決斷スルコ  
トアラヌ又諸臣ニ令スルニ政事ハカナラスマツ舊法ニ  
從フベシ新法ヲ建ル時ハ下民ノ心ニ難<sup>シ</sup>茨ナル事ニ思フ  
モノナリモシ己ム事ヲ得スレテ新法ヲ置ハ能々其道理  
ヲ鍛<sup>鍛</sup>練シテシカシテ後置クベシトナリ曾テ新タニ一法  
ヲ出シテ國中ニ令シテ貧窮ノモノアラハ訴ヘ出ヘシト  
イヘリシカシテ是ヲ訴フル者アレハ其者ノ貧ニナリシ

内務省

由ヲ責問テモシソノ分限ニ過タル奢侈ノコトニ依テノ  
コトカ又ハ法ニタカヒシ遊興ナシトニ依テノ事カカ、  
ル心得サルノコトニテ貧ニ至リシ者ハ其輕重ニ隨テ  
夫夫ニ誠ノ答テワツカモ扶助スル事ナク又不圖シタル  
事ニテ損失シ或ハ父母兄弟<sup>新親</sup>ノ故ニヨリテカ又ハソ  
ノ身長キ疾病ナシトノ故ニ依テカカ、ル去カタキコト  
ニテ貧ニ至リシ者ハ其筋<sup>筋</sup>ニ應シテ夫ニ金錢米穀ヲ與  
ヘ各其分ニカナヘテ是ニ吾營ノ術ヲ誨テ其從來ノ貧ヲ  
補ヒ助ケシトナリ是皆感スバキコト多シ吾人ハ皆正成  
カ軍事ニ精練ニシテ奇計妙算大敵ヲ摧挫スル事ノミヲ  
稱シテ口實トスルトモ正成カ邦國ノ治務堅固ニシテ其  
恩澤氏ニ潤ヒ人民和融シテ水火ノ難ヲ避ス死生是ヲ共  
ニス孫子云可與之死可與之生而不畏危也正成カ謂ナリ

内務省



徳澤邦家ニアマ子ク三世王室ニ勤勞ス上モ民救テ背  
 ク心ナキハ正成カ遺愛ナリ孟子天時不如地利地利不如  
 人和トアレハ人和ハ武ノ第一ナリ邦國衰弊シテ人民饑  
 寒ニ困<sup>吃</sup>ナル政事ニテハ人和ハ決テ得カタシイカ程軍  
 事ニ精練ナレトモ其術ハ施シ難シ其本ヲ堅固ニメ後奇  
 計妙算是ヨリ湧出スルナラン申上奉ルモ恐多ケレトモ  
 吾  
 神祖ノ駿遠ニテ治メ給フニ本多作左衛門高力與左衛門  
 天野三郎兵衛ヲ以テ三奉行ト定メ給ヒ國治リ兵強ク人  
 民和融ニテ死生ヲ共ニスル故ニ甲越ノ大敵ト微兵ヲ以  
 テ<sup>抗</sup>抗衡シ給ヒ又其後關八州御宇ニ入レヨリ伊奈熊藏等御  
 代官トシテ俊才ノ士ヲ撰テ地方ヲ盡シ邦國富饒ニシテ  
 益強大ニナリ天下ニ敵ナシ遂ニ創業ノ基ヲ建給ハリ是

是其本堅固ニシテ徳澤海内ニ及ハ孔子ノ子貢カ政ヲ  
 問シニ答タマフモ食ニ足り兵ニ足り民是ヲ信ストアル  
 ヲミレハ是ト符合セリ世ノ兵家者流ノ説所ヲ聞ニ陳陳  
 攻城籠城戰城郭築作甲冑器械精練ノ法口授秘訣トシテ  
 是ヲ教授セリ此數人者モ人君タルモノ知スニハアルベ  
 カラス然トモ顧ニ末ナリ趙括父ノ書ヲ讀テ遂ニ大敗ニ  
 及バリ其本ヲ堅固ニスル事ハ兵ノ本根ナレトモ武ヲ談  
 スルモノ爰ニ至テハ疎漏ナリ夫武ハ第一ニ國ヲ富シ兵  
 ヲ強クシ和順ヲ專ラニスルコト兵ノ要樞ナリ古ノ名將  
 皆此處ニ能ク心ヲ用ラレ其本ヲ堅固ニシテ後武ヲ強大  
 ニセリ語云有文事者必有武備有武備者必有文事文武ノ  
 道ハ車ノ兩輪ノ如クニシテ片々廢スヘカラス文武而全  
 スルヲ真ノ良將ト云フ今ヤ昇平百有餘年ノ間ニ邦國ノ

拙恐添誤

治ニ精カアル者稀ナリ何國モ君臣共ニ太平ノ化ニ沐浴  
シテ皆柔弱情慢ニシテモ武事大ニ弛ニ偶々文事ヲ始メ  
ルモ實理ヲ厭ヒ浮華ニシテ走ルコト治亦ノ風俗ナリ唯  
革命ヨリ後ニハ水府義公備前ノ新太郎ナリ義公ハ聖人  
ノ道ヲ尊信シ給ヒ文武兼備ノ徳ヲ以テ邦内ノ治務ニ勤  
勞アリテ能ク百姓ヲ撫安シ地ノ理ヲ察シ稼穡ノ道ニ精シ  
桑麻ヲ植テ功績ノ道ヲ教ヘ楮ヲ植テ紙ヲ製シ茶園ヲ開  
キ山峽卑温ノ地ニハ楮ヲ植テ山ニハ燧石ヲ穿セ海ニハ  
鹽ヲ煮海苔ヲ採ハ或ハ白魚ヲマキ種々ノコトヲナセリ  
今百年ニ及ビテ其益不少楮今尤盛ニ行ル一時ノ巧利  
ヲコトセス萬世子孫ノ為ニ圖立リ俵翁モ此鴻徳ヲ稱  
シ奉レリ又龜井隱岐守カ太夫多湖子ハ半紙ヲ造テ國ヲ  
富シ又石見ニ木ノ性曲リタル多シ因テ工夫シテ鞆打ヲ

内務省

招寄セ鞆ヲ打セシヨリ津和野ヨリ鞆出来シテ隱岐守諸  
方ヘ音信ニモ用シコノヤウナル類ソノ土地ノ風候ニ從  
テ工夫アラン民ノ為地頭ノ為其國ノ賑ニナルヘキコト  
アラン又備前候ハ好學ノ人ニシテ治國ノ躰ニ精練ナリ  
熊澤了海ヲ用テ國政ヲ改作シ舊染汚俗ヲ一洗シテ民ノ  
耳目ヲ改メカヲ溝洫ニ盡セリ兼應ノ比大旱洪水ニテ國  
中大饑饉ナレトモ君臣精カク盡シ大邦ノ人民ヲ賑救シ  
テ一人モ饑死スルモノナシ百姓悉感服セリ其後了海地  
カヲ盡ク術ヲナセリ其政ヲ聞ニ第一トスル所ハ農民ヲ  
多ク生育スルコトヲ先務トス隣國ヨリ水旱ニ遇テ破産  
流離ノ民乞食トナリテ我國ニ來レルハ兼テ法令ヲ定メ  
置テ村長ノ役ニテ官府ヘ訴ヘ衣食ヲ與ヘ農具<sup>具</sup>與ヘ<sup>具</sup>妻ナキ  
ハ妻ヲ與ヘ家作ヲナシテ與ヘ<sup>具</sup>工妾ニ於テ良民トナル廢田

内務省

ヲ耕耨セシメ作り取ニスルコト十年ニシテ夫ヨリ少  
シノ租税ヲ獻ス數年ノ中ニ農民夥敷生育ス其徳ニ感  
シテ他邦ヨリ良民ノ移リ來ル者多シ故ニ自然ト地開テ  
廢田ナク唯今ニ至レトモ村長等其良法ヲ守リテ廢絶セ  
ス故ニ邦内甚曠大ニナリテ富饒セリ是備前侯ノ遺徳々  
ルコト備藩典刑ヲ讀ニ能天職ヲ自得セシ賢臣ナリ誠ニ  
國富兵足トイフ者ナリ又近世熊本侯ハ賢明ニシテ邦國  
ノ治務ニ勤勞セラレ堀平太左衛門ニ國政ヲ委任シテ邦  
國能ク治リ隣國ニテモ其法ヲ用ラル龜井魯力肥後物語  
ニ詳ナリ又近頃常與ノ間貧民ノ習ヒニテ子ノ多キハ其  
後出產スル者ハ悉殺セリ是ヲ野語ニマヒクト云ヒ反ト  
イフ不仁ノ尤甚敷コトナル故ニ公儀ヨリモ御觸コレア  
リ其領主ヨリモ停止ストイヘトモ唯一通りノ觸故ニ決

内務省

シテ不止如何トナレハ桑樞編戸ノ貧民等撫育スルコト  
アタハス己ム事ヲ得スレテ是ヲ殺セリ人情ニ於テ甚悲  
ベキコトナリ然ルニ三春侯ノ邦内モ近歲ハ至テ衰弊セ  
リ村民ノ長ニ室屋甚内ト云モノアリ尤富有ノ者ナリ國  
民ノ漸々失亡スルヲ歎キテ官府ニ訴テ貧民ノ子ヲ殺ス  
コトヲ停止シ撫育セシコトヲ工夫シ其手<sup>法</sup>法ヲ以テ言上  
セシカハ主人ニモ其切ナル志ヲ感シ其法ヲ用テレ毎月  
官吏ヲシテ懷妊ノ女ヲ改ノ出產スル時ハ官ニ訴レハ扶  
持米ヲ賜フテ撫育セシム誠ニ良法ナリ一年ニ生育スル  
モノ夥敷ケレトモ其手<sup>法</sup>當意ク備レリ室屋甚内魁首トシ  
テ松本三九郎宮本市郎兵衛能志ヲ合セ此術ヲ為セリ誠  
ニ上モ無キ仁政ナリ人民多クナル時ハ自然ト地開ルコ  
ト必然ノ理ナレトモ誰モ此理ヲ知ルトイヘトモ其事ヲ

内務省

成就スルモノナシ鄰國ニテモ其善政ナル故ニ其法ニ習ヒ  
リト云フ國ヲ富ス第一術ナリ又東奥ノ隱士ノ云夫國群  
ヲ領スル者ハ各其領國ノ天度ノ寒暄ヲ能了知シテ其手  
當ヲ致スヘシ然ナカラ三十五度ヨリ南ノ地ハ暄カニシ  
テ春寒ノ暖<sup>暖</sup>旱<sup>暑</sup>早至テ且強ク秋冬ノ冷寒ハ遲クシテ薄キ  
故麥ニ雪朽ナク稻ニ青立ノ患ナシ其外草木生茂仕<sup>易</sup>キ  
故産物モ多クシテ金穀ノ收納多キ故國家ノ經濟致シ<sup>易</sup>  
シ亦三十六七度ヨリ北ノ地ハ寒キ故ニ春寒暖暑モ遲ク  
シテ且薄シ秋冬ノ冷寒ハ早來テ強キ故麥ニ雪朽多ク稻  
ニ青立多シ其外草木生茂仕難キ故産物モ少シテ金穀ノ  
收納少キ故國主モ貧乏仕<sup>易</sup>ク諸士モ貧乏仕<sup>易</sup>シ上下貧  
乏スレハ上下武備弛ナリ寒地ヲ領スル人能々心ヲ用バ  
シ心ヲ用ルトテ外ノ事ニハアラス寒氣ニ負<sup>負</sup>サル草木ヲ

仕立テ國産ヲ多ク仕ツテ國用ヲモ足シ通商<sup>商</sup>ヲモ多クシ  
テ寶貨ヲ賑ハス様ニスル事ナリサテ暖地ハ草木生茂シ  
<sup>易</sup>キ故也詔次茅何等ノ物モ仕立ラル、ナリ三十六七度  
以北ノ地ハ草木生茂仕難植テモ柯ハカリ成長シテ寶ヲ  
ナル物アリ寶リテモ真ノ寶ニアラサル物アリトカク<sup>暖</sup>  
地ニ比スレハ生茂虚寶半ハナルモノナリ心ヲ用ベシマ  
ツ寒地ニモ生茂仕<sup>易</sup>キ岳ハ木ニハ漆桑楮此三木ハ寒地ニ  
モ生茂仕<sup>易</sup>クシテ用多キ物ナレハ寒地ノ寶ト云ヘキモ  
ノナリ此外胡桃榧子珍菓ヲ家毎ニ植置テ寶ノ油ヲ取テ  
居家日用ト為ベシ<sup>珍菓ハ真州ニ産スル木ナリ大倭本草ニ</sup>  
ナリコレ草ニハ麻ナリ寒地ニハ木綿不生故皆他邦ノ木綿  
ヲ用レトモ自國ノ寶貨他邦ニ流レ出テ自國ノ不經濟ト  
ナルナリコノ故ニ寒地ニテハ自國ニ産スル<sup>絹ト麻布紙</sup>

内務省

子紙布ヲ用テ他邦ノ木綿ヲ禁スルコト寒地ノ一經濟ナ  
リト<sup>知</sup>ベシ都テ國ニ產物ヲ仕立ルニハ良田ヲ不妨壯男  
女ノカヲ不費只老人癯人小男女等ノ農業ヲ不勤者ノ仕  
業ニ為テ集テ大成スレハ大國產トナルナリ然ニ不吞籬  
ナレハ良田ヲ費壯男女ノカヲ用テ產物ヲ仕立ルモノア  
リ寶貨ハ通用シテ賑ハフ様ナレトモ五穀不足トナリテ  
大ナル妨ルナリ此所能々心ヲ配ベシサテ又右ノ產物ノ  
外ニ諸ノ細工物ヲ庶民<sup>并</sup>ニ諸家中<sup>迄</sup>ニ教テ多ク造ラシ  
メ國用ヲモ足シ寶貨ヲモ賑ハスベシ既ニ六韜ニモ大農  
大工大商<sup>高</sup>ヲ三寶ト云リ詳ニ工夫アルベシサテ如此國ヲ  
富セ人ヲ富スコトヲ演說スルモ武ヲ張ベキ為ノコトナ  
リ何程國君ヨリ<sup>命</sup>令アリテモ亦ハ人々心<sup>失</sup>失<sup>失</sup>武ヲ張  
コトハ不成ナリ國家ニ武備ヲキハ國非其國ト云モノナ

リ故ニ聖人ノ政モ農ト儉トヲ教テ國ヲ富シ人ヲ富セテ  
武ヲ張ヘキコトヲ第一ニ教タリ食貨志ニモ賈誼<sup>誼</sup>鼂錯カ  
文帝ニ積貯者天下ノ大金<sup>命</sup>ナリ<sup>ル</sup>コトヲ演說スル事甚尤ナ  
リ文帝其言ヲ用テ天下ヲ大ニ富饒セリ始ニモ言シ如ク  
王制ニ三年耕ハ必一年ノ食アル事是聖人ノ良法ナリ先  
賢皆此ヲ法則トスル所ナリ春臺ノ云レシニ天下米穀貴  
賤ニ依テ諸侯及工商<sup>高</sup>ノ類<sup>迄</sup>皆困窮セルコトヲ歎キ漢ノ  
宣帝ノ時耿壽昌ト云者常平倉ト云事ヲ創ノタリ是ハ在  
々處<sup>迄</sup>ニ倉ヲ建テ穀賤キ時ハ價ヲ增テ民間ノ穀ヲ糴取  
テ倉ニ納メ穀ノ貴キ時ハ價ヲ減シ糴<sup>糴</sup>出ス是ニテ穀ノ價  
貴カラス賤カラスイッモ好キホトノ價ニテアル故ニ士  
農工商<sup>高</sup>互ニ害ヲ受ルコト無<sup>レ</sup>ナリ凡穀ヲ蓄ルハ治世ニ  
ハ凶年饑饉ノ備トナリ萬一非常ノ變アレハ軍旅<sup>旅</sup>ノ食ニ

究心ツル故ニ國家ノ要務ナリ箇様ノ術ハ今ノ世ニモ行ル  
ト云フ昔此義倉ナ立テ民ノ家々ヨリ其貧富ニ隨テ每歲  
粟麥一石ヲ出ス是ヲ聚テ其在處ノ倉ニ藏メ其里ノ父老  
是ヲ主トリ常ニ蓄置テ凶年饑饉ノ時是ヲ出シテ其難ヲ  
濟シム吾邦ニモ文武天皇ノ世ニ及リシ事ニテ今ノ世ニ  
モ行ル、コトナリ諸侯ノ國ニテ士大夫ノ中ニ是ヲ行ハ  
神フ所多ルベシ誠ニサモアルベシ精キコトハ經濟録ヲ  
見テ知ルベシサテ熊澤了海モ武家ヲ土著ニスルトキハ  
國富兵足ノ術ヲ演説スルコトハ了海首唱ナレハナリ其  
後徠翁モ土著ニ制度ヲ立ルノ善政ナルコトヲ詳ニ論セ  
リ春臺是ニ左祖セリ東奥隱士モ三千ノ説ニ從フテ土著  
ノ善政ナルコトヲ辨セリ仙臺相馬大村肥前薩州ナト

皆古キ政令ヲ守リ土著ヤリ直參モ多ク陪臣モ多キナリ  
治國ニ志アル君ハ三子ノ説ヲ熟讀シテ經濟ノ一助トナ  
スベシ

教學

學記曰君子如欲化民成俗其必由學乎玉不琢不成器人不  
學不知道是故古之王者建國君民教學爲先允命曰念終始  
典于學其此文謂予古ヨリ人君タルモノハ經學研究セス  
ンハアルベカラス何則萬民ノ上ニ長トシテ是ヲ治ルハ  
天職ナリ其天職ノ重キ事ハ國家ヲ安シ萬民ヲ撫育スル  
ヲ先務トスレハナリ天ノ禍ヲ降ス事定リカリシ兵革ノ  
禍ハ暫置水旱疾疫ノ流行スル飢饉流亡ノ憂アル皆民ノ  
艱難疾苦スル所ナリ人君ノ是ヲ撫育スルニ實惠ナクテ  
ハ天職ニカナヒ治務ノ要ヲ得タル君トハ言ヒ難シ礼記

三モ君民者子以愛之則民親之信以結之則民不倍茶以涖  
之則有孫心トアレハ君長タルモノハ民ヲ見ルコト慈父  
ハ子ヲ養フカ如シ是ニ加ルニ信ト茶トヲ以テ治子ハ民  
ハ服ト又モノト見ヘタリ故ニ人君ノ經濟ニ於ル時理勢  
情ノ四ヲ知ルベシ時ヲ知ルヲ最要トス理ヲ知ルトハ理  
ハ道理ノ理ニアラス物理ナリ礼物ニハ必理アリ理ハ本  
ノモクメナリ是ニ順逆アレハナリ天下ノコトニモ順逆  
アルモノナレハ其心得ナクテハ治ラヌ勢ハ天下ノコト  
ニ理ト勢トノニアリ理ヲ知テ勢ヲ知サレハ行ラヌ事アタ  
ハ人情ヲ知ニ至テ尤得難キモノナリ時理勢情ノ四ハ  
春臺經濟録ニ詳ニ辨セリ以テ見ルヘシ凡人君ノ治務ヲ  
知ルハ先學問ニシクモノナレ古今ト異國ト本邦ト風  
俗異ナレトモ古今ノ人情ニ於テカハルコトナレ周書ニ

モ學ハサレハ面ニ牆ニコトニ臨ミテ是煩シトアリ學問  
セサレハ面ニ牆セルカ如ク天下ノ事情ハ見ヘ又モノナ  
リ又萬事ニ於テタヤクナルヘキコトモ只煩ハシクナリ  
テ分ラヌ事多シ故ニ有識ノ人ヲ師トシテ經義ヲ尋譯シ  
兆民撫育ノ道モ求問ベシ今ノ邦君ハ大抵舊弊ニ從ヒ因  
順苟且ニシテ實惠アルハ稀ナリ唯天性正カ生得タル才  
智ヲ以テ萬民ヲ治ムル故ニ愈治テ愈亂ル譬良匠ノ規矩  
ヲ棄テ大家ヲ經營スルカ如シ勞疲スレトモ其功ハナシ  
難シ聖賢ノ道ヲ以テ規矩準繩トセサレハ邦家ハ治ラヌ  
モノナリ得テ提敏ナル君ハ己カ才能ニ誇リテ經學ハ無  
用ノモノニテ人情ニ遠ク時勢ニ益ナシトテ遂ニ學ハヌ  
唯臣下ヲ輕蔑シテ忠言ヲ容用ニス諫路塞トキハイカナル  
忠臣アレハトテ直言スルモノナレ故ニ賞罰輕重凡百ノ

内務

事ニ至ル<sup>延</sup>君一人ニ決スル故ニ事繁雜ニシテ行届サル  
コト多シ是多ハ捷敏ノ君、癖ナリ又己一人耳目ノ私欲驕  
奢ニ國民ノ歎キハ顧見ス聚斂ハ愈饜コトナ<sup>故</sup>故ニ百姓  
ハ疲弊シテ邦國次第ニ衰羸シ君ヲ怨コト仇讎ノ如ク一  
旦<sup>緩</sup>國家ノ寬急ニ備フルコトアタハサルニ至レリ皆是繼  
體守文ノ君ノ通弊ニテ不學ノナス所ナリ何兆民ノ疾苦  
艱難ヲ知ラシヤ古ノ明君賢主タル人ニ不學ナルハ一人  
モナシ皆經義ヲ尊信ス其上身自カラ艱難辛苦ヲ經歷シ  
巖冬氷雪ニ身ヲ苦メ或ハ暴暑炎熱ニ肌ヲ曝シ風ニ掃リ  
雨<sup>雨</sup>ニ浴シテ飢餓勞疲ノ憂苦モ知リ戰爭侵奪ノ艱難ヲ踏  
テ能人情去態ヲモ熟知セリ公子童耳カ國難ニ遇フテ他  
邦ヲ經歷シ艱難嶮阻ヲ嘗ト云ヘリ世ノ諺ニ我身ツメリ  
テ人ノ痛ヲ知ト云ヘルモ此謂ナリ申上奉ルモ恐多ケ

レ<sup>延</sup>我神祖亂世ニ出サ給ヒ御幼推ノ時ヨリ織田家ノ  
人質ニ被爲入御成長ノ後今川家ノ旗下ニ屬シ給ヒ數戰  
難難嶮阻ヲ經歷シ人情去態悉ク熟知シ給ヒ遂ニ創業  
ノ基ヲ建給ヒシニモ林道春ヲ御用被爲遊常ニ左右ニ近  
侍セシメ聖賢ノ治要ヲ御討論被爲遊御間暇ノ暇ハ貞觀  
政要ノ御讀講被聞召候事政事録等諸書ニ見ハナリ  
神祖獻明ノ御聖知ニテ升ハ常ニ聖賢ノ治要ヲ御討論被  
爲遊其中ニモ政要ハ太宗ノ創業ノ時魏鄭ノ諸賢<sup>外</sup>國體  
ヲ論難シ諫路ヲ問テ諸賢ノ言ヲ容用タル事ヲ撰著セル  
書ナリ是ヲ太宗賢德第一ノ義事ナリ神祖每度御尊信  
被爲遊御創業ノ一助トモ被爲成候事後<sup>ニ</sup>テ御聖德  
ノ程感服シ奉ルコトナリ尚書弘濟ノ艱難庸濟小民ナル  
此君ノ謂ナリ昭廟ノ時御祖訓ヲ被爲追毎年成

内務省



首ニハ負觀政要ノ御講筵ヲ開セラレタル事傳兼タリ以  
此觀ニ人君タルモノ經學研究セ子ハ國家ノ治務ハ行レ  
難キモノナリ古ヨリ明君賢王ニ不學ノ人ハナキ故ナリ  
今ヤ昇平ニシテ世祿ノ士大夫ニモ才智アリ學問アレト  
モ下民ノ情ハ悟ラス身立祿ノ家ニ生レテ饑寒ノ情ニ疎  
カ故ナリ況王侯貴人生ナカラ高堂大廈ニ安坐シテ文學  
アレモ何トシテ下民ノ情ハ知ベキヤ此故ニ古モ明君聖王  
ニ必不輔佐ノ臣アリ多クハ卑賤ノ人ナリ帝堯ノ虞舜  
放ル成湯ノ伊尹ニ於ル高宗ノ傅說ニ於ル文王ノ呂望ニ  
於此皆貧賤ノ匹夫ヨリ技テ帝王ノ師傅トナレリ我神  
祖ノ本多佐渡守正信ニ於ル是ニ類セリ正信ハ元御鷹匹  
ニシテ至テ卑賤ノ人ナリシヲ技テ老臣ノ職ニ列シ唯幄  
ノ臣トナリ故ニ人情ニ能通シテ天下ノ治務ニクハ孟子

内務省

ノ言ニ人之有徳慧術知者恒存痠疾獨孤臣孽子其操心也  
危其慮患也深故達トアルモ誠ニ然ナリ久々民間ニ雜リ  
卑賤ニ屈テ艱難ヲ經歷シテ自然ト人情也態ニ通達以是  
書ヲ讀タルハカリニテハ得カタキ徳慧術知モ自然ニ出  
来ルナリ如此人ヲ得トキハ高位貴人ニテモ下民ノ情ヲ  
知シメスコト難カレシ是上ノ人情ヲ知シメスコト道ナ  
リ唯高貴人ノ獨智ヲ用タルハ功業ノ成就シタルハアラ  
ス唯學問アリテ古今ノ世變ニ達シ時ヲ知リ物理ヲ知リ  
勢ヲ知リ人情ヲ知テ經濟ノ道ヲ明メタル者卑賤ヨリ舉  
テ是ヲ輔佐トシテ治道ヲ論シ政事ヲ議シテ不易ノ定法  
ヲ立ルトキハ國家ハ治難カラシヤ人君ノ輔佐ノ臣ヲ得  
テ以テ難シトス禮記曰獨學而無友則孤陋而寡聞ナリト  
云ヘルモ此之謂レシハ想シテ貴人ニハ朋友ナキコト欠

内務省

タル事ナリ貴人ノ學文モ一切ノ藝モ大名藝ト云フ物ニ  
成レリ殊ニ政務ノ道ハ下ノ情ヲ能知ラサレハ行フ所圖  
ニ中又モノナリ忍ノモノナトヲ遣ニ遠國ノコトヲ見セ  
近習ノ臣ヨリ下ノ事ヲ聞モ能ヤウナルコトナレトモ人  
々面<sup>ニ</sup>ノ了<sup>簡</sup>ノ程ナラテハ見モ聞モナラヌモノナリ軍  
ニ物見ヲ遣スニ武功ノ人ヲ撰フコトモ手前ノ器量程ナ  
ラテハ見ハヌモノナリ殊ニ人情ニテ下ノ惡レキ事ハカ  
リヲ見出シ聞出シテ申上テ善事ハ申サヌモノナリサレ  
ハ下ノコトヲ見聞ントスルニモ心得アルベキコトナリ  
殊ニ御用ヲ兼ル<sup>筋</sup>ノ人ハ手前ノ申立度<sup>筋</sup>益ニナルヤウ  
ナル<sup>筋</sup>筋ヲ多ク申上ルナリ依之何トシテモ下ノ情ニ疎キ  
コト是貴人ノ身ノ上ニ欠タルコトナリ願ハクハ養先宴  
ナト、名ヲ付テ六七以上ナル又ヲ御旗本ノ隱居儒者

醫者出家町人百姓ノ内ニテ撰ミ一月ニ一兩度モ被召  
テ御料理餅酒菓子杯ヲモ下サレ物ニ心得タル者ヲ一兩  
人モ亭主ニシテ咄シヲシカケサセ御城下ノコトヲモ遠  
國ノ事ヲモ埒モナクヤクタイモナ<sup>キ</sup>コトヲ咄サセ聞シ  
召ヤウニアリ度コトナリ問フニハ落スニテ語ルニ落ル  
ト云フコトアリ無心ナル所ヨリ事ノ情ハ能知レテ益ア  
ルコト多キモノナリ埒モナク益モ無キヤウナル事ニ益  
多キモノナリ古ハ聖君賢主ニハ皆朋友アリテ徳アル  
人ヲハ君臣ノアイシラ井ニハ<sup>ハ</sup>給ハヌ<sup>又</sup>コトナリ是ヲ布  
衣ノ交ト云テ貴賤ノ禮ニ拘ハラヌコト古ノ道ナリ學者  
杯ニ治道ノ事御尋アルモ仲間ニテ道理ノ付合ヲサセテ  
服ニテ聞シ召スニ益多キモノナリト云レシガサモアラ  
ニカシ貴人高位ノ人下情ヲ知り給フベキ能キ教ナラン

内務省

人情ト云モノハ唯書ヲ讀ニ學問シタルハカリニテモ知  
レス天下ノ人貴賤等ヲ異ニシテ其好惡苦樂一様ナラサ  
レハ尋常ノ道理ヲ以テ外ヨリ遙ニ推察シタル分ニテハ  
中ヲ又コト多シ只善ク學問シタル上ニテ其品ニ人ニ  
近付テ親ク其事ヲ見聞シテ一々ニ其人ノカワリ其隱微  
ノ所ヲ深ク察シ其ナス口サト其言語トニ意ヲ注キ精ク  
思唯スレハ其大要ヲ得ルナリ是人君經ノ所要ナル所ナ  
リトカク人君不學ニテハ此所ニ心付サレコト多ケレハ  
經學アルヘキコトナリ閑闕ヨリ以テ世ニ賢者ト稱スルハ  
水府ノ

義公備前ノ新太郎此ニ君ハ皆好學ノ君ニシテ聖賢ノ  
道ヲ尊信シシタマヒ今ニ其政績ヲ稱難スル事多シ義公  
ハ未嘗水府ヲ禮寵シタマヒ水府ニ於テ彰考館ヲ經營シ

諸士ヲシテ六藝ヲ習ハシムル故ニ身カラ諸士モ淳和シ  
テ礼讓ノ風身カラ今存セリ学校ノ起レル事ハ水藩首唱  
タレハ也其ヨリ漸々列侯ノ國ニモ学校起レリ尾州ノ練  
兵堂備前ノ清雲寮肥後ノ時習館長門ノ明倫館筑前ノ誓  
古館<sup>等</sup>有リ文武ノ藝ヲ講習セリ往古ハ鼓吹司軍團ト  
ウノ有リシモ今ハ廢セリ異國ノ辟雍泮宮ハ圖式ニテサ  
ヘ大ソウナリ如斯ナラス共午輕ノ文武ノ真理講習ハナ  
ルヘキコト也俟翁ノ説ニモ新太郎少將ハ前一國ノ身上  
ニテナハ学校ヲ三ヶ所ニ立サセ多ク也是遠方ハ通ヒテ  
ハ學フモノノ不勝手成故也都下ハ廣大ノ地ニテ旗下ノ  
諸士モ夥敷阿レハ学校一ヶ所有ルハ不便利也学校ト云  
事ハエテナク共所々ハ儒者共ノ宅ヲクハリ上ヨリ誓古  
所ノ御立下サレ屋敷ヲモ廣ク被下<sup>等</sup>芽子共多クテ書寫ノ

内務省

御用ヲモ勤ヘキ弟子共ハ御扶持ニテモ被下多クハ也  
学問流行ナラム又十万石以上ノ大名ニハ其在所ニ学校  
ノヤウナルモノヲ立サセ度事也大抵五百石ホトノ物入  
ニテハ学校ハ出来ルコト也松平民部大輔萩ニ学校ノヤ  
ウナル者ヲ立テ萩菜ヲモサセ扶持方等ノ料ニ五百石付  
ヨク毎年書籍ヲ求ルヤウニ五五百石合テ十石程ノ事ニ  
テ諸士ノ学文ヲサスル故今ハ彼家中ニ学者多ク出来シ  
知リト聞ケリ御家ニマカリ在儒者モ心持ノ筋違ニタル  
故何レモ学文ハ怠リ御用ニ立又者多シ此以前林内記ノ  
父春齋ハ人見友元異見ヲ云ヒタル事有林家ノ学者ハ經  
学ヲトク何レモ講釋下手タ也心ヲ可被付ト云ハハ春齋  
以外ニ立腹シ某カ家ハ道春以來御用ノ筋ヲ第一トシ  
弟子共ニモ廣文ヲサスルニテ嘉右衛門杯カヤウニ講釋

御扶持ニテモ被下多クハ也

ヲ專ラニシハセス事家風也其方異見ノ如セハ當家ノ学文  
ハヤカテ捨タルヘシト云春齋ハ其時分上野屋敷ニ居住  
ス屋敷ノ内ニ学寮ヲ作り弟子共三十人半居タリ其教カ  
タ五科十等登云事ヲ立タリ五科ト云ハ經学科讀科詩科  
和学科也是人々学文ニ得テ不得テ有事凡五品ニ分テ  
学文ヲサセタル也十等ト云ハ十段ニ階級ヲ立五科共ニ学  
文ノ進ニ次第ニ階級ヲ登テ褒義ニ公儀ヨリ下サレタル  
九十人扶持一人半扶持ヨリ七人扶持迄タムタニ弟子共ニ  
クレテ是ニテキホヒヲ付貧学ノ者乃助成ニモ志タル也  
此時分庭ハ惣体也間ノ学文未タ前方成事サレ共道春ヨ  
リノ傳來ヲ夫ハス宜キ仁形ナリ總ニテ聖人ノ道ハ元來  
治國平天下ノ道ナル故政務ノ筋ニ入用成事ヲ第一トス  
ル事古ハヨリ如此レ其上人蓄量ニ得手不得手有テ諸事

内務

ハカ子ヲレス古ハモ四道ノ儒者ト云事有テ才一紀傳道  
ト云ハ歴史ヲ弘見テ詩文ヲ專トス異國トハ御用吾國ノ  
暗業ナル故是ノ才一トス管家江家は也經道ト云ハ十三  
經ヲ家業トス清家中家は也明法ハ律令格式ヲ等トス坂  
上中原是也等道ハ算數ニテ曆学天文ヲ兼テ小槻安倍等  
是也此外兵学ハ江家ノ家ニ傳ハテハ幡太郎モ大江匡房  
ヨリ兵学ヲ傳ヘタマヒリ當時モ詩文章歴史律和兵学学  
校書学ニハ色等ニ分御家ノ儒者共モ思ヒ寄次才ニ此内  
ナ一色ハ請取子共ニモ教ヘ御用ニ立ヤウニ心カケハ  
レト被御渡度事也經学ハ家業ナレハ御催促ニモ不及事  
也其節々ノ請取次第ニ御藏ノ書籍ヲモ被下規模成ヤウ  
ニアリス何レモ御用ニヤウニ成ヘシ白人ノ学文モ依之  
御用ニ立筋ニ成ヘシ何レモ何ノ用ニモ立又心法ノセウ

御用  
立筋  
成  
何レモ何ノ用ニモ立又心法ノセウ

モナキ理非ハ争ヒナト無用ノ学文ト云ハナリ誠ニ老先  
ノ卓識ナリ文繁カ故ニ爰ニ略ス凡人君ノ学校ヲ造立ス  
ルナラハ狹翁ノ意ヲ味ハキ事也其益不少免角人君タル  
モノ不学ニテハ臣下ニ文武ノ講習ハ行届サルモノ也故  
ニ臣下ヨリ尤ツ君長タル人学問有ヘキ事也然レ共其学  
問ニ種々ノ弊モアルナレハ此所ニ心付ヘキ事也僕竊ニ  
疑フ事有リ人君ノ好学ハ甚善ナレハ共好学ノ君ニ古今  
ノ通弊アルヨウニ思ハル其弊ハ道ヲ信スルト信セサル  
ニ有リテ学問ノ標的スル所道ト大小齟齬スル故ナラム  
俗ニ論語讀ノ論語知ラスト云ハルモ徒ニ讀学スルハ無  
用ノ事也聖人ノ道モ後世ハ多端ニシテ種々ノ変アリ後  
世学者ニモ歧路ニ走リテ國家ノ蓄害ヲ引出ス者モ有之  
共諸儒ノ論ハ暫クヲキテ論セヌ唯人君ノ好学ノ稱譽ハ

内務省

アレ共其邦家ノ治務ニ於テハ疎カナルモノモ多クテ却  
テ禍亂ノ本ヲ発スル君モ間々有之也是學問ノ害ヲ生ル  
事モサカラハルヨウニ思ハル古モ此ノ弊有り總テ好學  
ノ偽飾ヲナレ虚命ヲ貪里世ニ驕里俗ニ誇リテ其害ヲ発  
スル事王莽カ如キモノアリ莽ハ始陳參ニ師事テ禮經ヲ  
受勤身博學ニシテ節ヲ折テ恭儉ナリ母ニ事テ孝アリ寡  
嫂ニ事テ礼有リ孤ヲ養テ慈愛甚備レリ外英俊ニ交リ常  
世ノ名士等莽ヲ賢ナリトス稱譽日々盛ナリ成哀ノ隆國  
家ニ勤勞シ元后是ヲ賢リトシテ大任ヲ授周公成王ヲ輔  
佐スルノ故事ニ順テ居技多ラシム威權掌握ニ歸スルニ  
及テ姦惡忽発シ六經ヲ證トシテ符命ニ應シ孝平帝ヲ發  
シ篡盜ノ禍ヲ肆ニシテ凶要ヲ極ル事桀紂ヨリ甚シ爰ニ  
於テ兆民憤怒ヲ発シ豪傑一時ニ蜂起シテ遂ニ支體分裂

禮記

スルニ至レリ是道ヲ尊信シ六藝ヲ誦シテ姦惡ヲ偽飾ス  
古ヨリ亂臣賊子無道ノ人ナレ共莽如キ甚モノアラス誠  
ニ先王ノ罪人ト云ヘキ者也又唐玄宗ハ博學秀才詩文ニ  
長シ雄辨健筆ニシテ風流雅趣ハアルヨウナレ共流蕩奢  
侈ニシテ酒色ニ沈湎シ好樂ニ耽リテ揚貴妃安祿山ヲ愛  
寵シ國家ノ大亂ヲ引出シ玄宗外蒙塵シ基モ頌覆ニ至ラ  
ムトス是博學多才ナレ共國家ノ治務ニ於テハ不學ノ人  
モ勲ル所也又宋學ヲ尊信スル君ニモ間々英主ハアレ共  
多クハ無用ノ心法究理ニ束縛セラレ邦家治務ニ於テハ  
因循苟且ニ從ヒ衆民ヲ馭御スル事能ハサルハ弱宋ノ餘  
臭ナリ其故ハ徽宗欽宗ノ二帝ヲ狄人ニ取ラレテ君臣共  
ニ耻辱トモセス其仇ヲ復スル計ヲ求スレテ只誠意正心  
ノ說ヲ枕里其後天子ヲ蒙古ニ取ラレテ天子海ニ浮ヘル

内務

ニ陸秀夫カ徒船中ニテ大學章句ヲ講シテ淚ヲ流シケル  
ハ拙陋ノ甚シキ事是ニ過ク後世士君子ノ嘲ヲ得ルモ弱  
求究理ノ弊ナリ又韓非<sup>高</sup>鞅ノ術ヲ用ヒ刑罰暴酷ニシテ  
國政苛察法令ゲシナル故ニ國民手足ヲククトコロナシ  
百姓悲歎ニテ愁訴スルニ至レ共知サルモノ如シ唯内  
寵ニ耽リ奢靡好樂ニ財産ヲ費シテ聚斂ハ賢事ナシ良民  
ニ害ヲ生ル事虎狼ノ如シイカナル老酷吏モ可恐君アリ  
又道ヲ尊信シテ却テ禍ニ處ル君アル宋ノ襄公カ如シ泓  
ノ戰子魚カ諫ヲ容ヌ其敗績スルヤ襄公云君子傷ヲ重ス  
ニ毛ヲ禽セヌ古ノ軍ヲナスヤ阻隘ニセマラス列ヲ成セサ  
ルニ鼓<sup>レ</sup>ズト云テ遂ニ大敗ニ及ヘリ成安君陳餘モ儒者ナ  
リ常ニ義兵ヲ尊テ詐謀奇計ヲ嫌フ李<sup>左</sup>在車カ妙策ヲ進レ  
共是ヲ用ス遂ニ韓信カ爲ニ殺サレ天下ノ爲ニ笑ル此ニ

不  
性

君公道ヲ信スル事ニ篤ケレ共術ニ處ル事ヲ知ス柱ニ膠  
シテ琴ヲ弾カ如シ陋ナリト云ヘシ又梁孝元帝ハ黃老ノ  
道ニ心酔シ虛無ヲ談論スルノミニテ治務ノ要ヲ知ス江  
陵ニテ萬紐于謹ニ圍レシニ帝猶老子ヲ講シテ不輟百寮  
皆戎服シテ聽聞セリ俄ニ城陷君臣俱ニ囚繫セラレ耻ヲ  
予載ノ下ニ傳ハタリ黃老ノ道ハ則聖人ノ大道ナルニ其  
深意ヲ見違ヘルノ弊ナリ漢曹參ハ蓋公ニ黃老ノ道ヲ学  
ヒ治道ハ清靜ヲ貴テ民自カラ定マルルトイウテ齊國安  
集レ國民賢相ト稱セリ後蕭何ニ代テ丞相トナリ天下  
ハ多ク後ナレ共畫ノ政ヲナシテ海内平安ナリ是老子<sup>道也</sup>  
是老子ノ道ハ聖人ノ道ナレハ共用ヨウノ惡ケレハ亡興  
モ其人ニアラサレハ道虛ク行レスト云シモ此謂ナリ皆  
好學ノ國家ニ禍ヲナス事<sup>故</sup>拔擢シ難シ此故ニ人君ノ好學

均  
各  
首

ニ於ル能經濟ノ道ヲ熟知セシムルハ其禍ヲ蒙ル事モ少カ  
ラスマ鄙語稿ノマ子スル鳥ハ水ヲ吞ノ類ナルハレ世ノ  
好学ノ君先賢ノ遺訓ヲ篤ク信シテ庶民ノ疾苦艱難ニ熟  
知シテ能天職ヲ奉シテ邦家ノ治務ニ謹勞アリ多キ事也  
予ヤ輒生誠ニ管見ヲ以テ古今ノ人若臧否ヲ論難スル事  
予杜撰ニ非ス唯先賢ノ遺訓ヲ奉シテ述之トイハトモ聖  
治万分ノ一二モ當リ也人君政道ノ一助トモナラハ幸  
甚ナラン

招隠館漫筆卷之三終

明治九年五月

平井宣隆 平校

加藤養正 加校

同年五月廿六日

川口朔宸再校 川

招隠館



門  
欄  
省

*[Faint vertical text in the right column, likely bleed-through from the reverse side]*

同  
年  
冬  
月  
日

山口縣  
長  
官  
官  
署

町  
新  
町  
五

即  
於  
以  
年  
冬  
月

平  
井  
直  
吉

封

